

天龍村議会だより

第12号

発行日:
2026年1月29日

謹賀新年 あけましてあめでとうございます。



2026年、令和8年の幕開けとなりました。

旧年中には大変お世話になりました。

本年もよろしくお願ひいたします。良い年になりますように。

天龍村議会も昨年5月の改選後臨時議会からスタートして、

引き継ぐべき会議、議会だより、各種対話など議会活動、議員活動が村民にわかるように活動を継承して行きたいと話しました。先ずは建設的な議論が盛んになれば好いと思っております。

小さな村で暮らしやすい。これは目指すところです。

しかし不便で暮らしにくい所に何故先人らは村を形成してきたのか

自然が豊かな農山村の暮らしは、都会的な便利で合理化時短の即席文化とは大分違います。

むろん、都会にも熟成された文化や技はあるでしょうが、自然に根付いた恩恵と自給自足に近い、古来からの土地、技、知恵、集落性、まつり、、、大昔、地域のお宮の高床式倉庫には備蓄種もみみたいなものがあり、これらは災害、飢饉、戦、伝染病に弱い街や入植者を助けて来たに違いないと思います。

豊かな水源。自然の恩恵を受けられやすい農山村。

村の意義一面はこういう捉え方でいいと思うのです。

天龍村議会議長 村松克一

対話集会を行いました

令和7年12月7日（日）天龍村老人福祉センター大集会室で村民との対話集会を開催、12名の村民の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

議題は「議会議員定数が現在のままで適正なのか」

日頃村民の方から聞いた意見や、議員個人の意見などを踏まえて今まで会議してきましたが、今回、村民との対話集会を企画し、議運で日程や呼びかけ方法などについて話し合いました。



議会としての今後の意向

- ・ 少数意見や陳情の取り扱いなど、議論の過程が分かる工夫を行う。
- ・ 議員・議会の資質向上と定数の関係について、引き続き議論を深める。
- ・ 成り手不足の問題も含め、今回の意見を踏まえ、方向性を整理し、次の段階へ進めていく。

村民からの意見（集約）

- ・ 定数は無理に減らす必要はなく、人口や面積とのバランスを考慮すべき。
- ・ 議員は地区代表ではないため、個々の政策や考え方方が分かる発信が必要。
- ・ 委員会制度について
- ・ 分かりやすい説明が求められる。

- ・ 子どもでも理解できる説明があれば、定数についても納得しやすい。
- ・ 報酬を見直した上で定数を減らすという考え方もある。
- ・ 偶数が望ましい場合、6名という案も考えられる。

- ・ 活動が見えるのであれば、現状の定数8名でも理解できる。
- ・ 議員の活動を伝える「議員だより」などの情報発信を充実させてほしい。
- ・ 議員の活動内容が見えにくいとの声がある。



等

1. 令和8年度当初予算案の編成について

令和8年度当初予算案につきましては、第6次天龍村総合計画、第2期総合戦略を基に予算案の編成作業が進められているものと思います。

後藤知久議員

つきましては、令和8年度はどのような基本方針でどのような施策に重点におくのかお伺いします
また、2025年度～2027年度の実施計画書を基本に多くの事業に取り組まれると思いますが、新規事業として計画されているものがありますかお伺いします。



2. 村の人口ビジョンについて

少子高齢化に伴う急激な人口の減少という大きな課題に対し、村長を先頭に職員、村民が一体となって取り組んでいます。第6次総合計画の基本構想の中でも将来人口の目標を国立社会保障人口問題研究所による数値に対し、各方面的減少対策を実施することでそれを上回る人口としています。総合戦略におけるKPIの検証や現在6次計画の後期計画の基本計画策定がおこなわれていること等を踏まえ、以下の質問をします

- 1) 人口維持のため、また地域社会の活力を維持・発展させていくために移住・定住の推進を図ることは大きな施策です。近年の実績と今後の見通しを伺います
- 2) 移住・定住による空き家バンクの活用もあり人口対策となっています
村営住宅やお試し住宅等ありますが、空き家バンクの活用を今以上に行う計画はありませんか伺います

3) 第2期人口ビジョンでは、冒頭申し上げた人口を目標値としていますが、その達成を目指して行っている多くの施策の中で今回質問した1)、2)のこと以外で今後力を入れていく予定の施策について伺います

3. 高齢者に向けた情報発信について

光ケーブルによる村内全域でのテレビ視聴が始まろうとしています。また情報発信環境も整いつつありますが、そのような中、高齢者の更なる高齢化や一人暮らしの増加に伴い、自然災害・電話詐欺などの人災から身を守ること、村内の行政情報の放送や回覧、テレビでの放送の確認など高齢者は大変かと思います。情報を伝える手段としては訪問活動等による直接的な伝達が理想ですが、それ以外の方法での発信等について伺います

- 1) 現在スマートホンの操作に関する教室が開催されていますが、スマホを利用する目的を伺います
- 2) 当村にはICTネットワーク事業でICTタブレットが利用されており 今年度は当初予算でタブレット端末の整備が予定されています。このタブレットの利用者について実績をお聞きします
- 3) 大きな画面で見たり操作ができる、緊急時の連絡も可能なタブレットは利活用の多いものと思います。高齢者が利用しやすい端末でより多くの方に利用されるよう、その普及活動の為今まで以上にスマホのように操作教室を催し、時には担当者が地区や自宅へ出向いて説明を行う機会や福祉委員等を通じて利用促進できるよう事業に取り組んでいただくことが大切だと思いますがいかがでしょうか

1. 天龍村龍の子留学制度について

令和5年度より留学生の受け入れが始まった。

留学制度の実績と課題について。また創設当初3年限りとの説明があったが、現在すでに令和8年度の募集が行われている。

継続することについて要綱の変更等があるかも含めて伺いたい。

現在は村外在住の親子で一度も村に住所を定めた事のない者（親子留学）と、留学生が村内在住の祖父母等の下から小中学校に通学する者（孫留学）が対象になっているが、今後の地区存続や空家増加の懸念を考慮すると、Uターン（村内の学校を卒業して村に戻って来た者）の支援を拡充していく必要があるのではないかと考える。Uターン者向け支援策の充実を今後検討する予定はあるか。

2. 秘境大学2025について

天龍村で行う関係人口（つながり人口）のプログラム「秘境大学」が人気だと伺っている。また秘境駅ツアーやおもてなしイベントも行っているが、各イベントを通して天龍村に来てくださった方々のその後の拡がり、交流人口を増やして将来にどうつなげていくか、課題や今後事業化してみたいことなどもあればお伺いしたい。

熊谷美沙子議員

3. 地域活性化企業人受入事業について

現在の進捗状況は？ この事業を採用している他自治体で課題が出ている状況もある中で、天龍村の追い風となるよう引き続き対応をお願いしたい。

4. 副村長の就任予定と職員体制について

副村長が不在のため、これまで副村長が担っていた業務を各課長が分担して対応されている。副村長就任について現状ご説明できる事があれば伺いたい。また、中堅職員の退職が相次いでおり、係長級の職員の負担も大きいように見受けられる。職員OBの方や専門分野の知識をお持ちの村民の方に、パートタイム会計年度任用職員として手助けをして貰うなど、職員の負担軽減策を講じる事はできないか。人口減少、高齢化、担い手不足等々天龍村の課題は多いが、持続可能な村政運営や行政サービス、職員の労働環境等、私達村民も一緒になって考える必要があると思うが、村長のお考えは？



1.ごみ出しのあり方について

熊谷よし江議員



- ①資源ごみを少量からでも持ち込める常時受付可能な収集ステーションの設置や運営について検討する考えはあるか。
- ②指定ごみ袋について、小型サイズの導入 または、価格設定の見直しなど、住民の負担軽減につながる改善を検討できないか。
- ③乾電池などの有害ごみについて安全対策を施した回収ボックスを役場、出張所などに設置し、隨時回収できる仕組みを整えることについて検討する考えはあるか。
- ④指定のごみ袋に指名記入を求めていたり現行の運用について プライバシー面への配慮の観点から改善の余地を検討できないか。

〈質問の趣旨〉

家庭内にごみを長時間保管することによる衛生面、精神的ストレスの解消。
不法投棄、通常ごみへの混入などのリスク低減。
住民の生活の質向上につながる施策を検討してほしい。

2.文化行事等の周知方法および運営体制について

- ①先日の昇龍まつりにおいて著名な専門家による「羽ばたけブッポウソウ」動画完成祝賀試写会や美術品寄贈者への感謝状贈呈、美術館での展示など文化的価値の高い催しが行われたが、周知不足により十分に村民に届かなかった点について、当局の現状認識を伺う。
- ②上記の催し周知方法、広報手段、当日の案内体制などについて、どのように準備、実施されていたのか、また改善が必要と考える点はあるか。
- ③当日、上映において音響、映像設備の不具合や事前準備の不足が見られた点について 準備、確認体制の現状と今後の改善方針を伺う。
- ④今後、文化、自然に関わる貴重な取り組みがより多くの村民に届くよう 広報方法の改善や開催形態の見直しを検討する考えについて伺う。
- ⑤ビデオについては、教育的価値も高いと考えられるため 小学校など教育現場での活用を教育委員会と連携して検討することが可能か伺う。
- ⑥今回、ご協力いただいた著名な先生をはじめ 外部の協力者や寄贈者に対し、敬意が適切に伝わる対応が行われていたか 当局の見解を伺うとともに、今後の来訪者対応のあり方について見解を伺う。

12月3日～15日定例議会が行われ、下記の案件について審議しました。

第4回

議会定例会

項目	件名
議案 56	天龍村学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
議案 57	令和7年度天龍村一般会計補正予算（第5号）について
議案 58	令和7年度天龍村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案 59	令和7年度天龍村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案 60	令和7年度天龍村営水道事業会計補正予算（第3号）について
議案 61	令和7年度天龍村営下水道事業会計補正予算（第3号）について
発議 4	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書の提出について

天龍村議会活動

(期間：令和7年 10月)
黒字：村松克一議長 赤字：全議員

2025/10/1	水	村単独要望活動（帰り）
2025/10/6	月	三遠南信地域市町村議会議長協議会 三遠南信サミット2025
2025/10/9	木	南部地区議員会要望活動（県現地機関）
2025/10/10	金	南部地区議員会要望活動（県庁関係）
2025/10/15	水	例月出納検査
2025/10/16	木	昇龍祭り実行委員会
2025/10/17	金	南信州広域連合議会視察研修
2025/10/18	土	
2025/10/27	月	定期監査
2025/10/28	火	県地域開発協議会議員研修会
2025/10/29	水	阿南病院運営懇談会
2025/10/30	木	長野県町村議会議長会定期総会 議会の在り方検討委員会
2025/10/31	金	飯伊市町村議会議員研修会 議会の在り方検討委員会



天龍村議会活動

(期間：令和7年 11月)
黒字：村松克一議長 赤字：全議員

2025/11/4	火	県地方自治政策課題研究会（オンライン）
2025/11/6	木	消防演習
2025/11/7	金	愛知・長野県境域開発協議会要望活動
2025/11/8	土	愛知・長野県境域開発協議会要望活動
2025/11/11	火	南部地区議員会要望活動
2025/11/12	水	南部地区議員会要望活動 町村議会議長会全国
2025/11/14	金	広域連合議会
2025/11/15	土	昇龍まつり(村表彰)
2025/11/16	日	秋消防演習
2025/11/17	月	全国過疎地域連盟総会
2025/11/18	火	例月出納検査
2025/11/21	金	広域消防委員会
2025/11/25	火	下伊那南部総合組合議会定例会 中部電力との行政懇談会
2025/11/28	金	広域連合議会



天龍村

議会活動

(期間: 令和7年 12月)
黒字: 村松克一議長 赤字: 全議員

2026年12月1日	月	議会運営委員会
2025年12月3日	水	議会運営委員会 第4回議会定例会（初日）
2025年12月7日	日	村民と議会との対話集会
2025年12月9日	火	事業評価及び事業計画検証
2025年12月11日	木	下伊那道路に関する講演会
2025年12月15日	月	議会運営委員会 第4回議会定例会（最終日）
2025年12月17日	水	例月出納検査
2025年12月18日	木	空家等対策協議会
2025年12月23日	火	社会福祉協議会評議員会

天龍小中学生議会傍聴体験



12月15日の議会最終日、
小・中学生7名が議会を傍聴しました。
議会の様子を真剣な表情で見つめる姿に、
なり手不足が課題となる中、議員一同あらためて励ま
される思いがしました。

ウクライナ戦争やベネズエラ事件。10年前とは比べようもない物騒な世の中になっています。だからこそ、身近な暮らしの安心や安全を大切にし、今を生きる私たちが何を残せるのかを考えることが必要だと感じます。議会での議論や取り組みが、将来につながる地域づくりの一助となれば幸いです。

あとがき

議会だよりへの
お問い合わせ、ご意見は
わたしたちまで
お寄せ下さい。

副編集長 熊谷よし江

このたび、
議会だより副編集長を務め
させていただくことになりました。
村民の皆様にとって、議会
が少しでも身近に感じにら
れる紙面になるよう努めて
まいります。

どうぞよろしく

お願いいいたします。



次回議会予定は3月です。